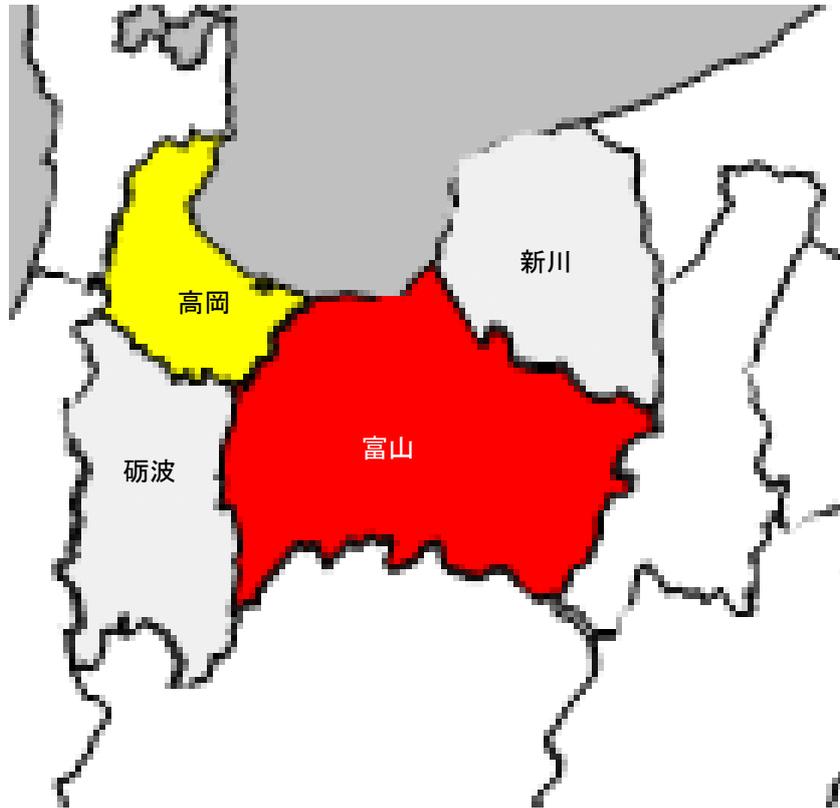


16. 富山県



1 6 富山県

A. 医療提供体制の現状

富山県の特徴は、(1) 比較的豊富な医療資源をバランスよく提供している医療提供体制、(2) 富山と、高岡の2つの拠点が存在することある。

(1) 比較的豊富な医療資源をバランスよく提供している医療提供体制

県全体の偏差値は、病床数57、一般病床数55、病院勤務医数53、全身麻酔数56、看護師数57と、比較的豊富な医療資源を有する。また全ての医療圏の全身麻酔の偏差値が50を超え、各地に拠点病院あり、医療資源がバランスよく配置され、県内のどこからでも比較的短時間で拠点病院に到達できる。

(2) 富山と、高岡の2つの拠点

富山に人口の46%が集中しているが、病院勤務医の56%、全身麻酔の49%、看護師の52%と、人口以上の割合で医療資源が集中している。一方高岡に、基幹病院が3個存在し、病院勤務医23%、全身麻酔の33%を行い、富山県の第2の拠点となっている。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(新川)

この地域の人口当たりの一般病床数の偏差値が55、病院勤務医が50、全身麻酔数が50、看護師数が56と、過疎地域としては、充実した医療提供体制である。2010→35年の総医療需要5%減、0-64歳の医療需要が35%減を考えると、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換が進めることが求められる。また、富山との連携強化も必要である。

(富山)

富山には富山大学があり、偏差値が病床数60、一般病床56、病院勤務医数58、全身麻酔数57、看護師数61と充実した医療が提供されている。2010→35年の総医療需要富山県全体の1%減少、富山が3%増、0-64歳が富山県全体で30%減少、富山が26%減少を考えると、富山の急性期医療の提供能力過剰になっていくことが予想される。将来に向けて、医師や看護師数の養成の適正化、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換が求められる。

(高岡)

高岡の人口当たりの偏差値は、病院勤務医47、全身麻酔医数59、看護師数51であり、病院勤務医数に比し、多くの全身麻酔が行われており、地方都市としては充実した医療が提供されている。2010→35年の総医療需要4%減、0-64歳の医療需要が35%減を考えると、急性期病床

の療養、亜急性期、回復期への転換が進めることが求められる。

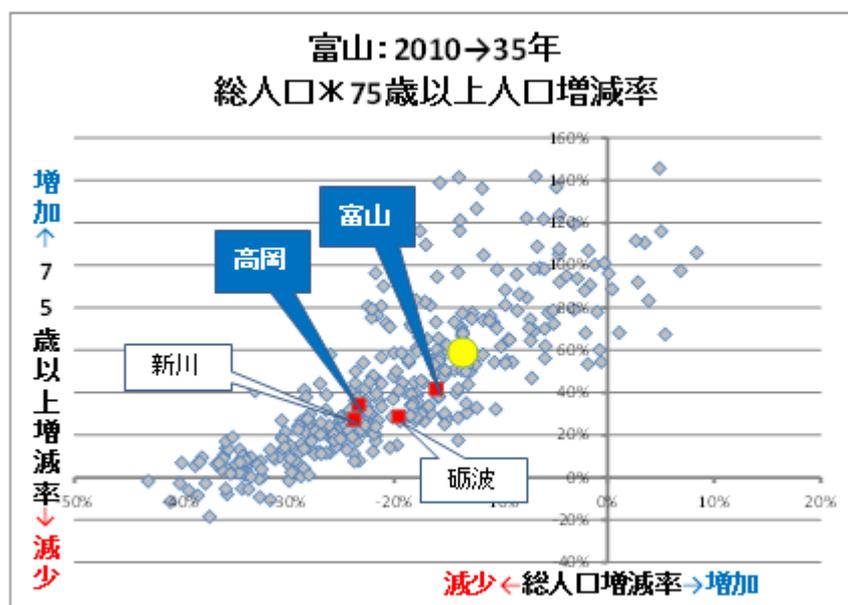
(砺波)

砺波の人口当たりの偏差値は、病院勤務医 49、全身麻酔医数 50、看護師数 58 であり、地方都市としては充実した医療が提供されている。2010→35 年の総医療需要 2%減、0-64 歳の医療需要が 31%減を考えると、急性期病床の療養、亜急性期、回復期への転換が進めることが求められる。

表 16-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
富山県	1,093,247	37位	4,248	33位	257.4		26%	-20%	36%
新川	127,644	12%	925	22%	138.1	過疎型	28%	-24%	27%
富山	508,027	46%	1,844	43%	275.5	地方都市型	25%	-16%	42%
高岡	321,375	29%	549	13%	585.3	地方都市型	27%	-23%	35%
砺波	136,201	12%	930	22%	146.5	過疎型	28%	-20%	29%

図 16-1 総人口と 75 歳以上人口の増減率 (2010 年→35 年)



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012
 (A.「医療提供体制の現状」、表16-1、表16-2、表16-5、図16-4)
 厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3
 (図16-5)

表 16-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
富山県	18,349	1.1%	1,678	57	9,096	1.0%	832	55	12,926	1.0%	88	46
新川	2,299	13%	1,801	60	1,069	12%	837	55	1,427	11%	75	40
富山	9,196	50%	1,810	60	4,407	48%	867	56	6,118	47%	98	51
高岡	4,422	24%	1,376	51	2,555	28%	795	53	3,606	28%	82	44
砺波	2,432	13%	1,786	60	1,065	12%	782	53	1,775	14%	82	43

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 16-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

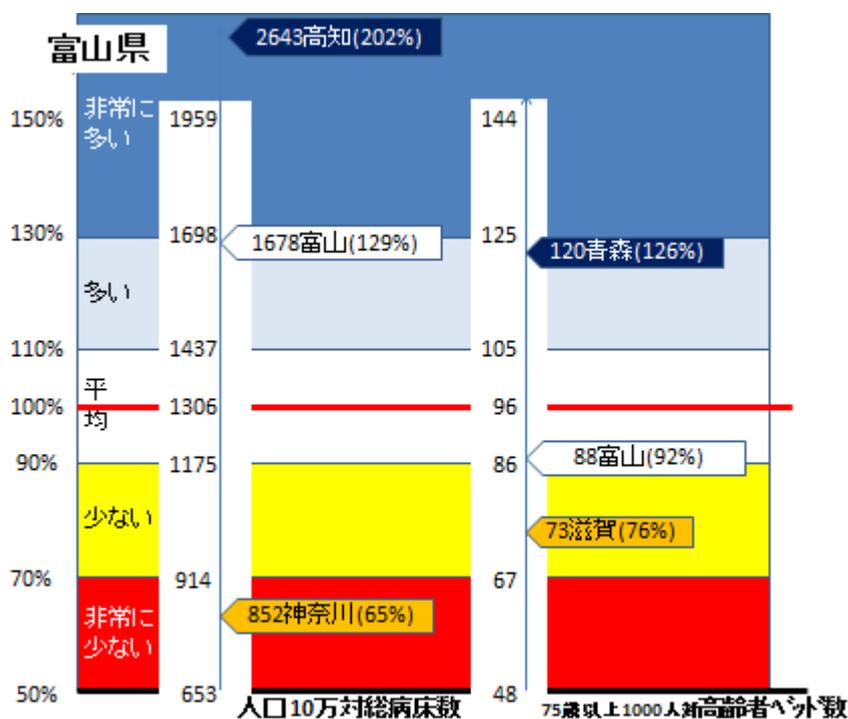


表 16-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
富山県	5,328	1.6%	487	61	406	0.7%	37	47	3,393	1.0%	310	52
新川	843	16%	660	69	83	20%	65	54	290	9%	227	48
富山	2,745	52%	540	63	247	61%	49	50	1,721	51%	339	53
高岡	938	18%	292	52	40	10%	12	42	862	25%	268	50
砺波	802	15%	589	66	36	9%	26	45	520	15%	382	55

表 16-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
富山県	2	1.0%	1.8	51	7	1.9%	6.4	60	709	0.8%	65	49
新川	0	0%	0	43	2	29%	15.7	86	93	13%	73	51
富山	1	50%	2.0	52	3	43%	5.9	58	392	55%	77	52
高岡	1	50%	3.1	56	1	14%	3.1	50	122	17%	38	42
砺波	0	0%	0	43	1	14%	7.3	62	103	14%	75	52

表 16-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
富山県	1,506	1.0%	138	53	8,911	1.1%	815	57	20,474	1.1%	1,873	56
新川	159	11%	125	50	1,015	11%	795	56	1,762	9%	1,380	50
富山	839	56%	165	58	4,597	52%	905	61	10,030	49%	1,974	57
高岡	349	23%	109	47	2,165	24%	674	51	6,748	33%	2,100	59
砺波	159	11%	117	49	1,134	13%	832	58	1,934	9%	1,420	50

図 16-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

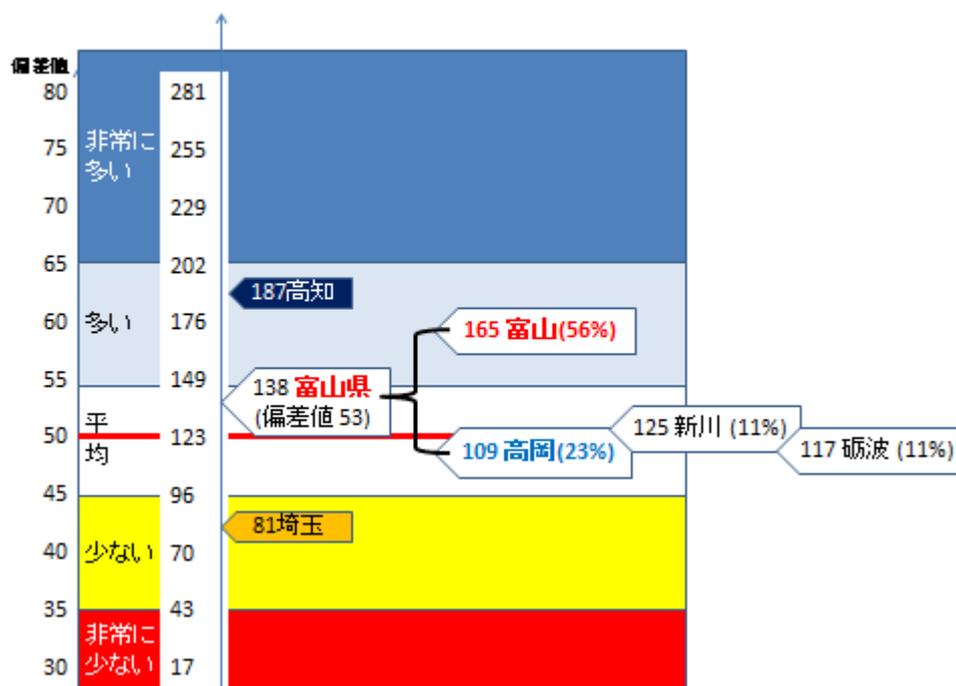


図 16-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

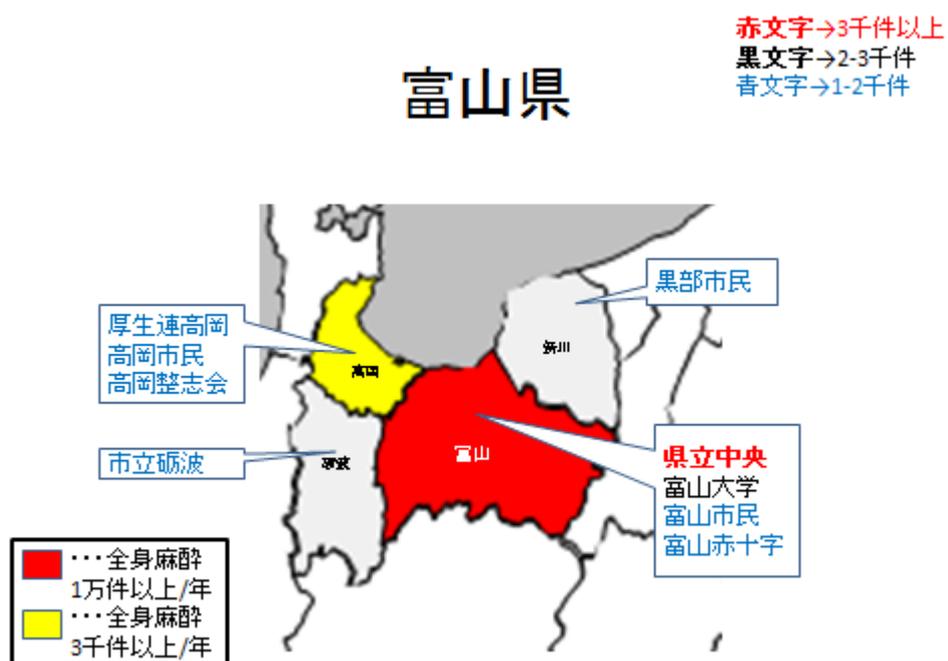


図 16-5 二次医療圏（流入出）

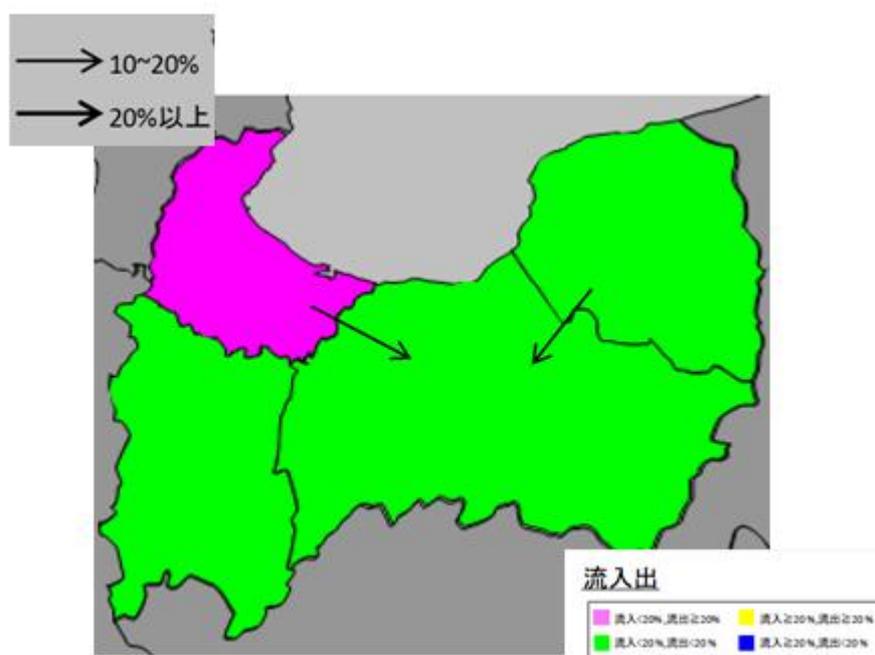


表 16-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
富山県	8,578	1.2%	58	57	3,932	1.3%	27	59	4,646	1.2%	32	53
新川	974	11%	51	51	396	10%	21	48	578	12%	30	52
富山	3,812	44%	61	60	1,917	49%	31	66	1,895	41%	30	52
高岡	2,608	30%	59	58	1,060	27%	24	54	1,548	33%	35	57
砺波	1,184	14%	54	54	559	14%	26	57	625	13%	29	51

表 16-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
富山県	4,348	0.7%	30	41	586	0.2%	4.0	38	1,438	0.9%	9.8	48
新川	453	10%	24	38	63	11%	3.3	38	124	9%	6.5	42
富山	2,306	53%	37	45	448	76%	7.2	41	579	40%	9.3	47
高岡	998	23%	23	37	53	9%	1.2	36	420	29%	9.6	47
砺波	591	14%	27	40	22	4%	1.0	36	315	22%	14.5	55

表 16-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
富山県		-1%	-30%	-15%	-25%	36%	29%
新川	3	-5%	-35%	-20%	-29%	27%	22%
富山	2	3%	-26%	-10%	-20%	42%	35%
高岡	2	-4%	-35%	-21%	-29%	35%	27%
砺波	3	-2%	-31%	-17%	-26%	29%	24%

図 16-6 富山県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

